

# 大蔵海岸でゴミ拾い

## 明石高生ら プラスチック容器など



寒空の下、黙々とゴミ拾いをする明石高生ら  
＝明石市大蔵海岸通1

明石高校生の社会奉仕団体「インターアクトクラブ」がこのほど、大蔵海岸（同市大蔵海岸通1）で清掃活動をした。寒空の下、砂浜に散在するペットボトルやプラスチック容器などのゴミを拾い集めた。

同クラブは昨年6月に発足。新型コロナウイルスの影響で年間計画の見直しを余儀なくされる中、本年度初の活動として14日に難病研究を支援する「1933（いきみ）募金」を実施。さらにクラブ員の提案でゴミが目立つ大蔵海岸の清掃に取り組むことにした。

この日は高校生23人に加え、明石ロータリークラブの有志18人も参加。波打ち

立（西区伊川谷）078・9

際や岩場などに分かれ、砂に埋まったBB弾やたばこの吸い殻、5センチほどに砕けたプラスチック片を黙々と回収した。

インターアクトクラブ会長長の2年伊藤佑介さん（16）

は「人の役に立てる活動に汗を流せるのは気持ちいい。コロナが収まったら老人ホームの手伝いに行きたい」と話した。（長沢伸一）